

KIITO:

本物に見て、触れて、わくわくする水族館を
みんなでつくる連続ワークショップを開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりワークショップを開催いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸では、子どもの創造性を育むプラットフォーム「KIITO:300 キャンプ」の取り組みとして、連続ワークショップ「みんなで KIITO に水族館をつくろう！」を開催します。

海や川、森や山など、自然にはたくさんの生き物たちが暮らしています。今回のワークショップでは、生き物たちが生息する場所や、環境にあわせて独自の進化を遂げてきた姿に着目し、工作などの手法を使って「水族館」をつくります。

ワークショップの講師には、神戸を拠点に、大人からこどもまでが楽しめるさまざまなアートプロジェクトやワークショップを手がけるクリエイティブユニット「マキコムズ」と、舞台美術やデジタルアートによる演出で幻想的な世界を体験できる劇場型アクアリウム「átoa（アトア）」をお迎えします。

水族館で生き物の色や模様、暮らしている環境を観察し、そこから発想を広げながら、「つくること」を通じて創造的な学びを深める機会の創出を目指します。

【開催概要】

催事名：みんなで KIITO に水族館をつくろう！

日時：2026年2月21日（土）～3月20日（金・祝）13:00～17:00 ※全6回

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 3F KIITO:300、プロジェクトスペース 3B

講師：マキコムズ、AQUARIUM×ART átoa

定員：15名（要申込、申込多数の場合は抽選）

参加費：小学生 1,500円／中学生 2,600円（átoa 入館料を含む）

対象：小学3年生～中学3年生（原則全日程参加できる方）

持ち物：汚れてもいい服装

申込み：ウェブサイト（<https://kiito.jp/>）からお申込みください

申込期間：1月21日（水）15:00～2月13日（金）23:59まで ※抽選結果は2月16日（月）中にご連絡をします。

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

【KIITO:300 キャンプとは？】



「KIITO:300（キイトサンマルマル）キャンプ」では、子どもたちを対象に、デザイナーや建築家などのクリエイターや企業を講師に迎えたワークショップに加え、工作・ボードゲームといった常設のプログラムを通して、学びの機会創出に取り組んでいます。また、子どもの教育に関わる人々を対象としたレクチャーも開催し、大人と子どもが共にこの場所で楽しく学べるプログラムを実施しています。

【スケジュール（予定）】

- ① 2月21日（土）13:00～17:00 水族館について学ぼう！
átoaを見学し、水族館や生き物のことについて学びます。
- ② 2月22日（日）13:00～17:00 水族館のコンセプトを考えよう！
どんな水族館があったら面白いか、みんなで話し合って考えます。
- ③ 2月28日（土）13:00～17:00 水族館をつくろう！①
- ④ 3月8日（日）13:00～17:00 水族館をつくろう！②
- ⑤ 3月15日（日）13:00～17:00 水族館をつくろう！③
生き物の特徴や暮らしている環境など、学んだことをいかしながら、色んな素材をつかって水族館をつくっていきます。
- ⑥ 3月20日（金・祝）13:00～17:00 水族館を発表しよう！
完成した水族館の魅力や工夫したところなどを発表します。

※ワークショップ終了後、完成した水族館の展示や関連のワークショップなどを予定しています。詳細については決まり次第WEBサイトにてお知らせします。

【ゲストプロフィール】



マキコムズ

マスダマキコとカワサキマキによるクリエイティブユニット。

日常の何気ないことから発想し、巨大な物、長い物、楽しい事を思いついては、大人や**こども**をマキ込む参加型の造形ワークショップにしている。マキ込み、マキ込まれたりしながら、バカバカしい事ほど真剣に、手で感じて、手で作ることを大切にしている。月一回保育園での造形あそび、神戸市内の公園リニューアルや区市政の事業、会場デザイン、浜田市世界こども美術館などでは環境問題に対して考えるきっかけになる体験型の展示なども行っている。



AQUARIUM×ART átoa（アトア）

アクアリウムとアートが融合した、新感覚の都市型水族館。

音・光・香りなど五感を刺激する演出が、幻想的な世界へと誘います。テーマを象徴するシンボリックな水槽が並び、まるで水面の上を歩いているようなガラス床水槽や、日本最大級の球体水槽など、ここでしか出会えない空間が広がります。まるで舞台や映画のワンシーンに入り込んだかのような空間で生きものたちとの出会いが楽しめます。



左・中央：過去のKIITOのワークショップの様子 右：átoa（アトア）の水槽や演出の様子